

## 都道府県データ

# 茨城県

- 社会貢献活動拠出額……………18,022,222円
- 社会貢献活動拠出件数……………106件

- 総人口……………2,975,023人  
男性……………1,479,644人  
女性……………1,495,379人
- 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………488人
- 世帯数……………1,031,679世帯

※総務省国勢調査資料より(17年10月)

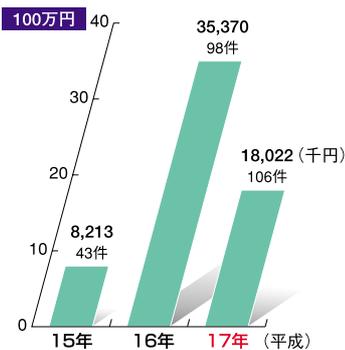


茨城県遊技業協同組合  
理事長  
松本時夫氏

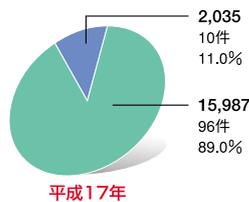
### 理解と信頼を得るための地域貢献活動の推進。

社会福祉協議会をはじめ、日本赤十字茨城県支部への基金の贈呈。特に、平成15年(2003年)からは、茨城県選抜中学校野球大会に協賛し、優勝チーム等には、プロ野球の公式試合へ招待するなど青少年非行防止活動にも積極的に取り組んでいます。

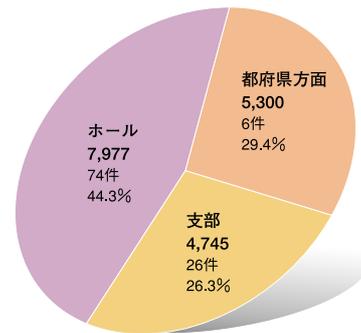
■ 年別 拠出額と拠出件数



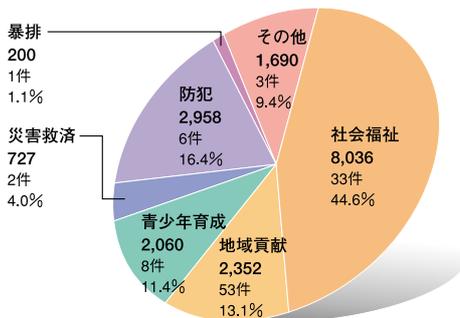
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



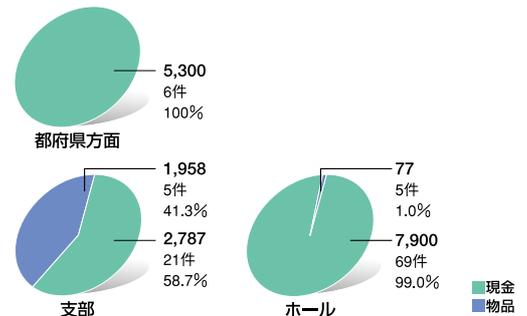
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



### ● 青少年の健全育成を目的に中学生の野球大会を協賛

茨城県選抜中学校野球大会は、昨年で30回を迎えた伝統的な大会で、茨城新聞社主催、県教育委員会等が後援し、毎年8月つくば市のさくら球場を中心に熱戦がくり広げられており、この大会出場者から甲子園に出場した選手も出ております。茨城県遊協では、青少年の健全育成の目的からこの大会に協賛し、開会式での選手の行進や閉会式の表彰式に出席し激励しております。

- 社会福祉関連への基金として800万円を寄付
- 地域貢献関連の基金として230万円を寄付

- 防犯関連の基金として300万円を寄付
- 新潟県中越地震復興義援金として72万円を寄付

# 栃木県

- 社会貢献活動拠出額……………10,213,935円
- 社会貢献活動拠出件数……………29件

- 総人口……………2,016,452人
- 男性……………1,001,877人
- 女性……………1,014,575人
- 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………315人
- 世帯数……………708,794世帯

※総務省国勢調査資料より(17年10月)

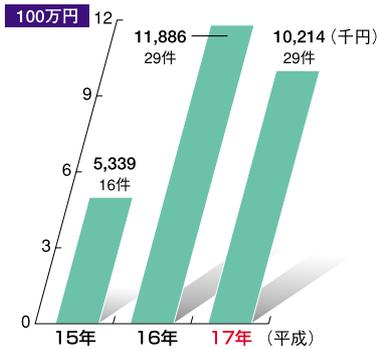


栃木県遊技業協同組合理事長  
安田範氏

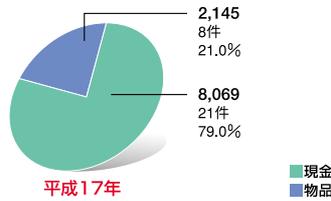
## 地域の住民とともにある安心安全ホールの確立のために。

ホールのスタッフが地域でゴミ拾い奉仕活動をはじめ、暴力団排除市民大会や高齢者福祉施設・夏祭りに物品の寄付、ホール駐車場における事件・事故対策を講じています。これらは、ほんの1例ですが、今後とも各福祉施設や県行政・警察と連携し目に見える社会貢献や事件・事故の未然防止に積極的に貢献します。

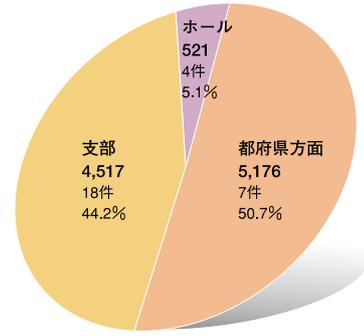
■ 年別 拠出額と拠出件数



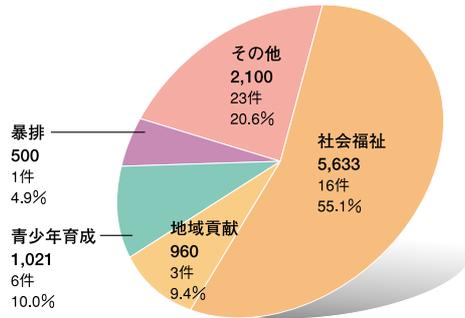
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



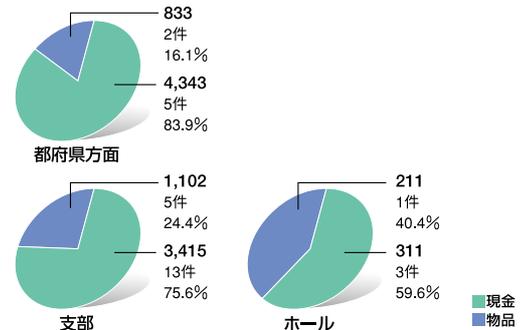
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



### ●「福祉ヤクルト」の収益浄財で介護用車いすを購入、特養へ寄贈

栃木県遊技業協同組合が社会貢献活動の一環として実施した「福祉ヤクルト」の収益浄財で介護用車いす12台を購入し県内6カ所の特別養護老人ホームへ寄贈。今回第6回目で累計72台を県内36カ所の特別養護老人ホームへ寄贈した。



特養へ車いすを贈呈

- 新潟県中越地震の復興支援として義援金281万5,000円を寄付
- 映画「盲導犬クイール」の入場券12万円分を幼稚園2カ所に配布
- 「車上狙いに注意」ののぼりばたを350本寄贈
- 乳幼児の事故防止プレートを作成配布

### ●「栃の実基金」200万円を県に寄贈

※23年間で累計5,900万円



「栃の実基金」表彰

# 都道府県データ

## 群馬県

- 社会貢献活動拠出額……………12,312,235円
- 社会貢献活動拠出件数……………81件

- 総人口……………2,024,044人  
男性……………996,225人  
女性……………1,027,819人
- 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………318人
- 世帯数……………725,744世帯

※総務省国勢調査資料より(17年10月)

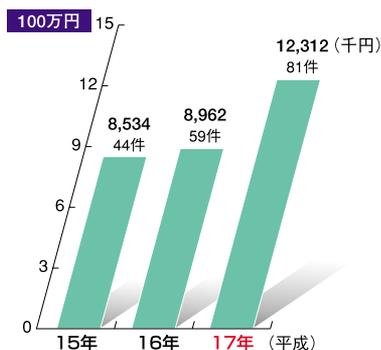


群馬県遊技業協同組合  
理事長  
金山茂氏

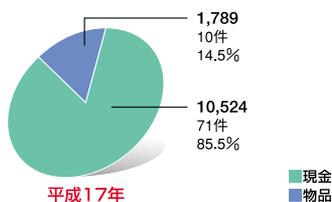
「鶴舞う形の群馬県」に因み、より多くの県民に幸せを運びたい。

組合創立満40年、県遊協、18の地区組合とともに防犯関連団体に加わる等により多くの活動に取り組んでいます。全国的に見ると低いのですが、社会貢献・還元は継続と心が大切、今後も背伸びせず、小さいこと、できることから地道に進め、文字通り、鶴となって県内の「一隅」にも幸せを運ぶ努力をしたいと思います。

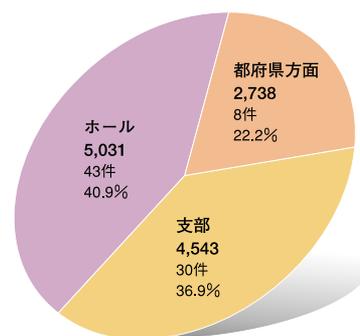
■ 年別 拠出額と拠出件数



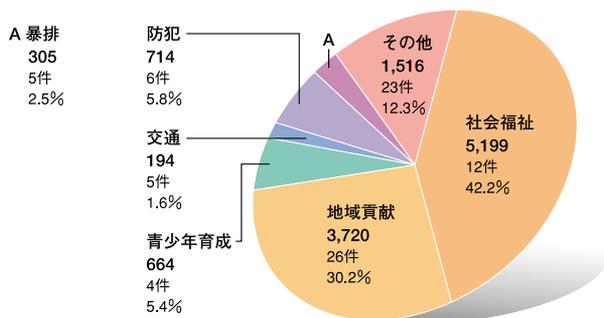
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



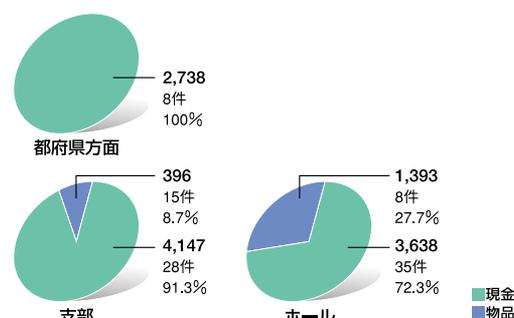
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



### ● 「ディズニーオンアイス」に施設の子どもたちを招待

青年部活動恒例(10年継続)の群馬テレビ主催「ディズニーオンアイス前橋公演」(平成17年(2005年)10月28~30日)に県内の児童養護施設の子どもたち60人を群馬県青少年こども課を通じて招待した。



招待した子どもたち



県から感謝状

### ● 群馬県・地区自治体に578万円および上毛新聞「愛の募金箱」に11万3,000円寄付

- 地区高崎組合NPO法人設立、青パトによる下校時等防犯パトロールを実施
- 地区前橋組合職域防犯協力会に加盟、駅周辺の街頭犯罪パトロール実施
- 防犯用立て看板およびステッカーを作成配布



車上荒らし・車両盗難防止用立て看板(左)  
車内での子供事故防止用立て看板(中)  
車上荒らし注意用防犯ステッカーを貼ったマット(右)



金山理事長から小寺群馬県知事へ寄付金の贈呈

## 都道府県データ

# 埼玉県

- 社会貢献活動拠出額……………50,101,593円
- 社会貢献活動拠出件数……………229件

- 総人口……………7,053,689人
  - 男性……………3,554,373人
  - 女性……………3,499,316人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>あたり)……………1,858人
  - 世帯数……………2,647,746世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

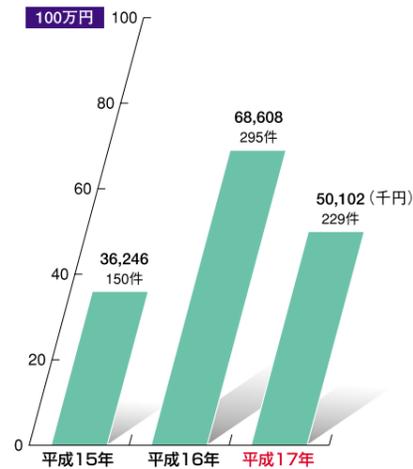


埼玉県遊技業協同組合  
理事長  
山田茂則氏

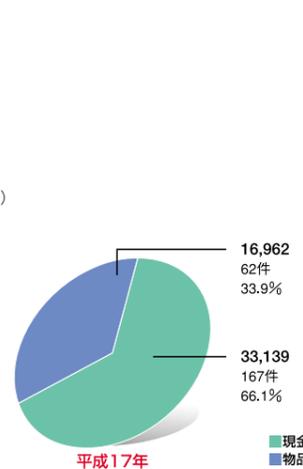
社会に認知される効果的な社会貢献活動を推進します。

17年度(2005年度)も「善意の箱」基金による様々な社会貢献を、各地区防犯協会が中心になり取り組みました。さらにプロ野球選手による「野球教室」「防犯カメラの寄贈」「障害者施設へのパソコン等の寄贈」等多彩な取り組みを行いました。今年度は、新たに「幼児を狙った凶悪犯罪の防止」を図るための地域防犯活動を積極的に取り組みます。

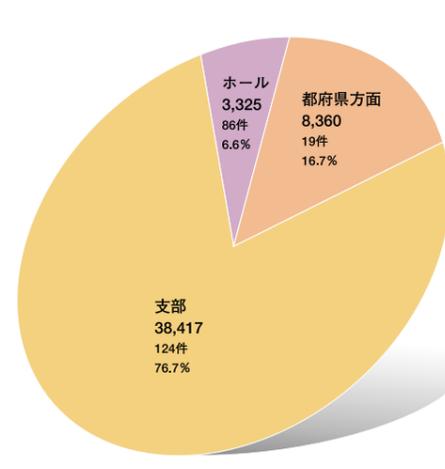
■ 年別 拠出額と拠出件数



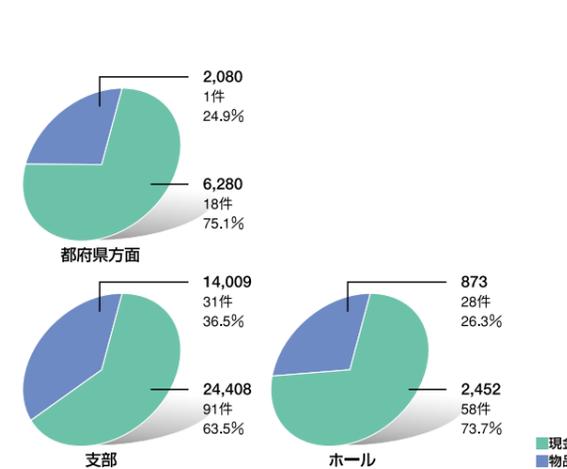
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



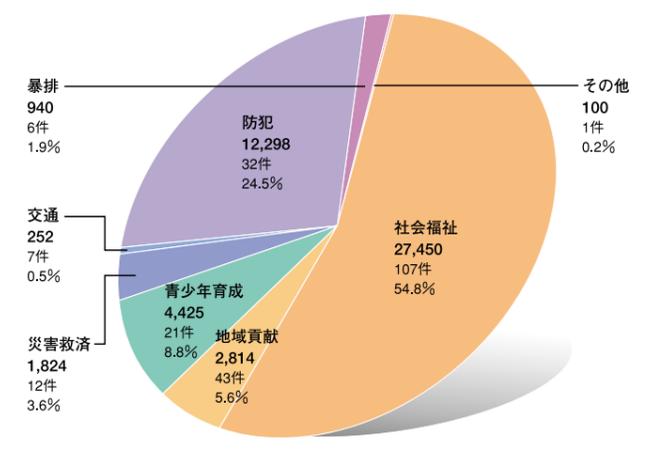
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●「善意の箱」基金で、様々な防犯具などを寄贈

傘下各組合は、社会貢献活動の一環として行っている「善意の箱」基金から、小中高校へ防犯具として刺股、防犯協会や地元自治体に防犯パトロールカー、新入学児童に防犯ホイッスルなどを寄贈した。



### ●東京ヤクルトスワローズ協力による野球教室の開催

傘下各組合では、地域社会貢献活動の一環としてヤクルト販売会社各社の協力を得て少年野球教室を開催している。教室には、東京ヤクルトスワローズの現役選手やOBの方々が参加し、好評を博した。



### ●子どもへ警報ホイッスル、保護者へ防犯ガイドを寄贈

春日部地区遊技業防犯協会では、春日部・庄和町地区の小学校の新入学児童に、犯罪被害防止のために「警報ホイッスル(呼子笛)」を、保護者の方へは埼玉県警監修の「防犯ガイド」を寄贈した。



### ●心身障害者デイケア施設に乗用車寄贈

### ●新潟県中越地震の復興支援として義援金を寄付

### ●年末年始特別警戒の防犯パレードに協力

### ●埼玉新聞社会福祉事業団に歳末助け合いとして50万円寄贈

### ●社会福祉事業団など県内8団体に総額380万円寄贈

### ●デイサービスセンターにスロットマシン2台を寄贈

### ●児童福祉施設の学童を、ミュージカル「銀河鉄道の夜」に招待

### ●敬老の日、市内の老人施設の入居者を招いて「老人施設対抗バチンコ大会」開催

### ●市役所に防犯パトロールカー1台を寄贈

### ●市役所に福祉業務、災害時の人員輸送等に活用できる車両1台(10人乗)を寄贈

### ●大宮駅東口の防犯カメラ設置のための協議会に協賛金寄贈

大宮地区遊技場防犯協会では、埼玉県内において犯罪認知件数の多いJR大宮駅東口周辺の犯罪抑止に向け防犯カメラ設置を進めている「大宮駅東口防犯カメラ設置協議会」に200万円の協賛金を贈呈した。



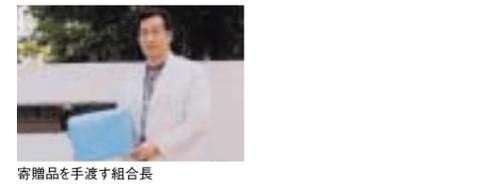
### ●障害者作業所にパソコンや冷蔵庫などを寄贈

所沢地区遊技業防犯協会は、所沢市社会福祉協議会等との研修・意見交換および懇親会において、障害者作業所施設「しのひ」にパソコンや冷蔵庫、「飛行船」に運営費などを寄贈した。



### ●福祉施設にぬいぐるみやおもちゃなどをクリスマスプレゼント

岩槻・蓮田地区遊技業防犯協会は、クリスマスにあわせ傘下の組合員ホールから集めたぬいぐるみや玩具などを、岩槻・蓮田市内の福祉施設にクリスマスプレゼントとして寄贈した。



### ●市社会福祉協議会に福祉車両1台を寄贈

### ●産経新聞「社会を明るくする運動」に賛同し写真ニュース掲示板の設置

### ●読売新聞の写真ニュース掲示板の設置

### ●春の「全国地域安全活動推進週間」に遊技客に「防犯ガイド」を配布

### ●車上狙いが多発したことから「車上あらし多発!!」ステッカーを作成し寄贈

### ●社会福祉キャンペーンによる収益金で福祉車両1台を寄贈

### ●児童たちの登下校時の交通事故防止、不審者対策に「子どもの安全見守り隊」の旗1,000本を寄贈

### ●県警の「年末年始特別警戒取締り」に組合員10名が参加するとともに飲料等を差し入れ慰労した。

## 都道府県データ

# 千葉県

- 社会貢献活動拠出額……………29,363,549円
- 社会貢献活動拠出件数……………140件

- 総人口……………6,056,159人  
男性……………3,029,018人  
女性……………3,027,141人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………1,174人
  - 世帯数……………2,324,169世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

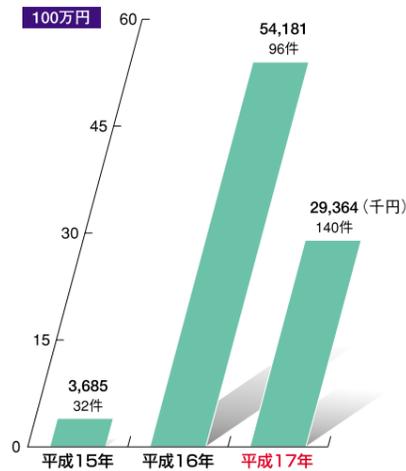


千葉県遊技業協同組合  
理事長  
大城正準氏

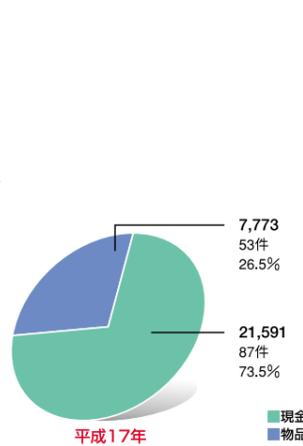
### 千遊協「夢まるふぁんど福祉支援事業」について。

現代は、地域社会で果たすべき責任が個人にも企業にも強く求められる時代です。千遊協では、従来の社会貢献活動を見直し、各ホールのお客様のご協力を得て、「こぼれ玉」を基金に地域福祉の向上や文化の育成に寄与するため、平成17年(2005年)7月1日から千遊協「夢まるふぁんど福祉支援事業」を推進しています。

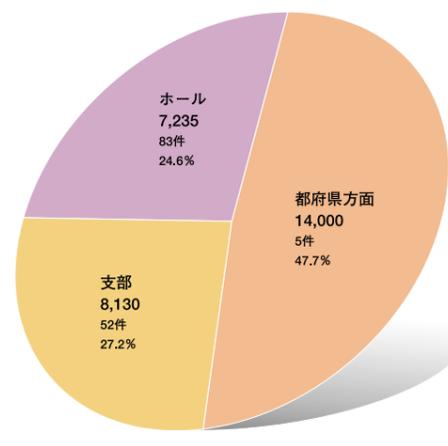
■ 年別 拠出額と拠出件数



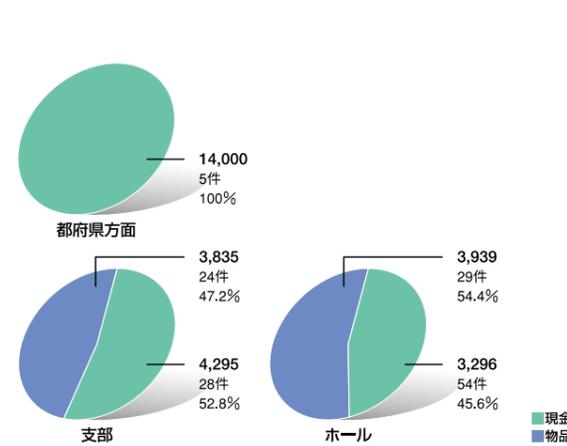
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



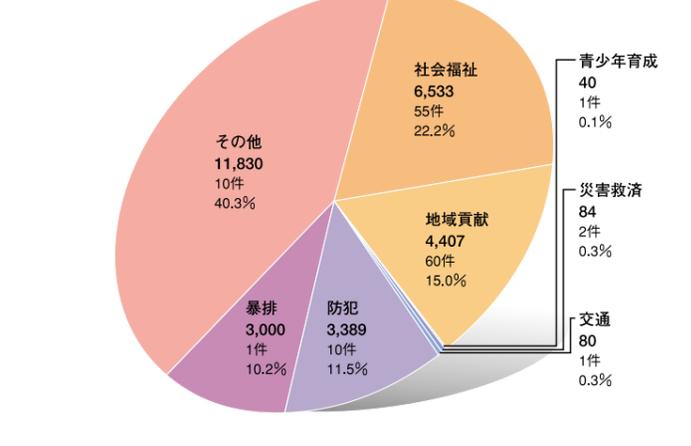
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●社会福祉協議会に車いす搬送車両を寄贈

平成8年(1996年)以来、指定会社であるヤクルトの協賛を得て、毎年県内の老人福祉施設等に「福祉車両」の寄贈をしているが、平成17年(2005年)は木更津市福祉協議会に「福祉車両夢まる号」を1台寄贈した。



木更津福祉協議会への福祉車両夢まる号の寄贈

### ●夢まるふぁんど委員会が(財)文化財保護・芸術研究助成財団に第1期分の基金贈呈

千葉県遊技業協同組合と、県内メディア3社(千葉日報社、千葉テレビ放送、ベイエフエム)の4団体で設立した「夢まるふぁんど委員会」が社会貢献国際(文化)事業として、(財)文化財保護・芸術研究助成財団に第1期分の基金500万円を寄贈した。



夢まるふぁんど委員会の(財)文化財保護・芸術研究助成財団に第1期分基金贈呈

### ●夢まるふぁんど委員会が千葉県子ども病院に第2期分の基金贈呈

「夢まるふぁんど委員会」は、福祉事業として、医療機器不足に陥っている千葉県子ども病院に移動式X線撮影装置1台、新生児用光線治療ユニット2台、計3台の第2期分基金500万円を贈呈した。



夢まるふぁんど委員会が千葉県子ども病院に第2期分基金贈呈

- 新潟県中越地震の復興支援活動として義援金寄付
- 八千代市社会福祉協議会へ福祉車両1台を寄贈
- 千葉県内2福祉法人に福祉基金を寄贈
- NPO法人花籠会にデイサービス送迎用車両購入費を助成
- 旭地区遊技場防犯協力が野球教室および栄養指導講習会開催

### ●スワローズOB選手らの協力を得て少年野球教室を開催

千葉県遊技業防犯協会傘下の旭・東金・千葉西・習志野遊技場防犯協会は、それぞれ少年野球教室を開催した。開催にあたっては県内ヤクルトグループの協力を得て、スワローズOB選手から指導を受けるなど大好評のうちに終了した。



少年野球の心構え指導 バッティングの基本指導

### ●「みんなで作ろう安心の街」防犯パトロール

市川遊技場組合は、市川市からの「みんなで作ろう安心の街」の呼びかけに応じ、所轄署担当官から防犯指導を受けて、組合員ホール従業員が防犯パトロール車で、防犯パトロール(毎月10日間)を実施している。住民から「安心できる。是非継続して欲しい」と好評を得ている。



市民から好評の防犯パトロール車

- 千葉市内老人ホーム3カ所にパチンコ遊技機寄贈
- 社会福祉法人の自閉症施設にリハビリ機器寄贈
- 船橋市教育委員会に学童の安全活動支援
- 松戸市内養護施設2カ所に福利厚生(毎月)支援
- 千葉南防犯協会に防犯パトロール用ベスト寄贈

## 都道府県データ

# 神奈川県

- 社会貢献活動拠出額……………126,577,472円
- 社会貢献活動拠出件数……………382件

- 総人口……………8,790,900人
  - 男性……………4,443,955人
  - 女性……………4,346,945人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>あたり)……………3,639人
  - 世帯数……………3,590,241世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

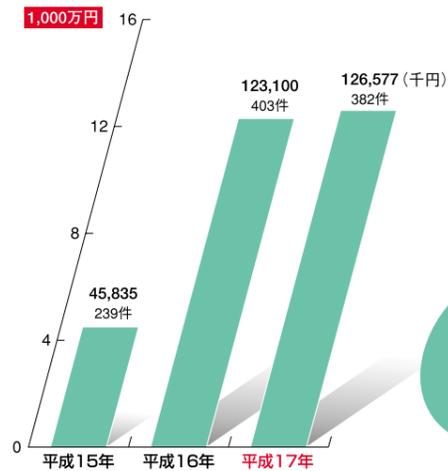


神奈川県遊技場協同組合  
理事長  
平川正寿氏

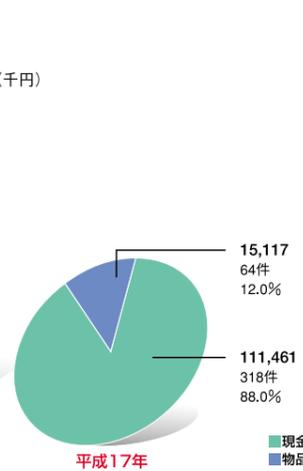
### 社会貢献活動は業界人に課せられた社会的責任。

当組合は、昭和60年(1985年)に、社会貢献活動を行う専門の組織として神奈川県福祉事業協会を設立し、以来21年間にわたり、社会貢献活動は業界人に課せられた社会的責任であると認識して活動してきました。これからも、業界の先人が灯した社会貢献の灯をしっかり継承し、さらに充実、発展させていく決意です。

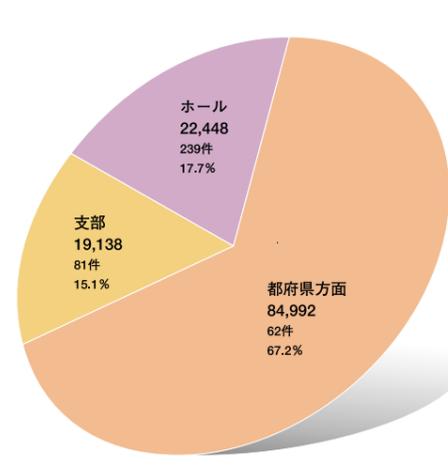
■ 年別 拠出額と拠出件数



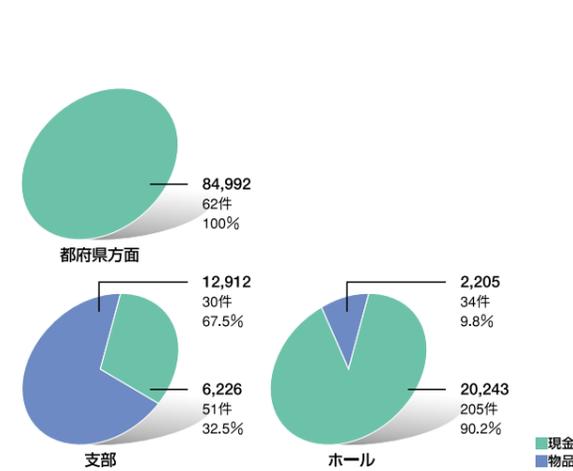
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



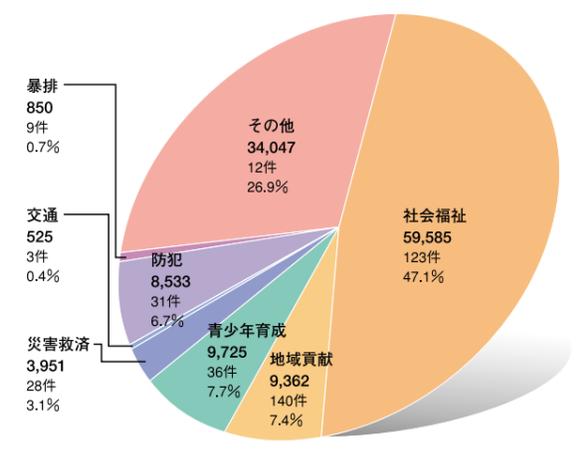
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●不審者から子どもを守る刺股を教育委員会に寄贈

川崎市遊技場組合が川崎市防犯協会連合会とともに、不審者から子どもを守ることを目的として刺股121本を川崎市教育委員会に寄贈した。同教育委員会は市立の幼稚園や小学校などに配布する予定。



贈呈式で岩本組合長から川崎市長に

### ●青少年地域スポーツクラブ活動事業への支援

地域スポーツの拠点として活動している「金沢スポーツクラブ」が子どもたちを対象に、全日本テニス協会所属の岩淵選手を招いて開催したテニスイベントに、ラケット・ボール等の用具を寄贈した。



イベントに参加した子どもたち 岩淵選手の指導を受ける

### ●日本赤十字社 神奈川県支部の献血事業への支援

県内3カ所の血液センターへ、献血事業を円滑に行うため、献血用車両3台を寄贈した。



献血用車両の贈呈式 贈呈した献血用車両

### ●知的障害児通園施設へ屋外大型遊具を寄贈

### ●(福)神奈川県社会福祉協議会の高齢者文化祭を支援

### ●知的障害者更生施設のエレベーター設置を助成

### ●日本身体障害者アーチェリー連盟の全国大会出場を支援

### ●神奈川県心身障害児者父母の会連盟の福祉促進大会の開催を支援

### ●NPO法人 神奈川被害者支援センターの広報・啓発事業を支援

### ●スマトラ島沖地震・パキスタン地震復興の義援金

### ●日本ユニセフ協会の活動を支援

### ●サンタクロースと子どもたちのふれあい事業の支援

県内60の児童養護施設へ、フィンランド州政府公認のサンタクロースからの音声入りクリスマスカードを郵送するとともに、横浜にある1施設に、同政府公認のサンタさんがプレゼントとカードを持って訪問した。



サンタさんの訪問に大喜び サンタさんプレゼントありがとう

### ●社会福祉施設へ、送迎車両の贈呈

知的障害者施設(3施設)、デイサービス施設(1施設)にマイクロバス、リフト付きワゴン車計4台を寄贈した。



寄贈したマイクロバス 寄贈したリフト付きワゴン車

### ●「安全・安心まちづくり」のための防犯パトロールの実施

川崎市遊技場組合は「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」に基づく「安全・安心まちづくり旬間」(平成17年(2005年)10月11日~10月22日)の活動に協力して、川崎市内の繁華街を中心に防犯パトロールを行った。



警察官と一緒に防犯パトロール 市民の方に防犯チラシを配布

### ●(財)神奈川県身体障害者連合会の「50周年記念誌」の発行を支援

### ●(福)横浜市リハビリテーション事業団の福祉関係展示会の開催を支援

### ●新日本プロレスの「神奈川県ガン撲滅チャリティー」、「横浜市社会福祉チャリティー」を支援

### ●神奈川県被害少年サポーター連絡協議会の青少年育成活動を支援

### ●(財)神奈川県国際交流協会の「神奈川民際協力基金」に助成金を寄付

### ●神奈川県高等学校定通教育振興会へ定時制教育支援の寄付

※このほか、特に秀れた貢献活動として「かながわパチンコ・パチスロ社会貢献20周年20億円達成記念事業」(44ページ参照)が地域貢献賞を受賞するとともに、「国立ポリシヨイスカーカスへの招待」(64ページ参照)が審査員奨励賞を受賞しました。

## 都道府県データ

# 新潟県

- 社会貢献活動拠出額……………34,360,341円
- 社会貢献活動拠出件数……………159件

- 総人口……………2,431,396人
  - 男性……………1,176,785人
  - 女性……………1,254,611人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………193人
  - 世帯数……………819,439世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

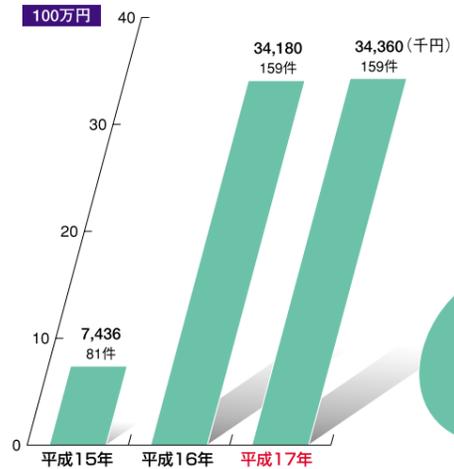


新潟県遊技業協同組合理事長  
堀川三雄氏

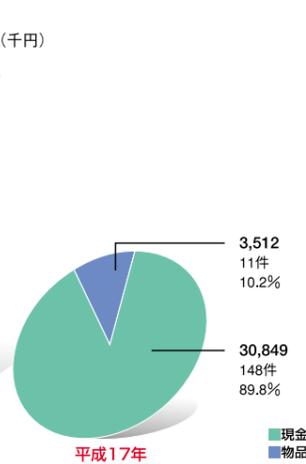
地域に密着した社会貢献活動を強力に推進する。

私たちは、地域ニーズが何かをそれぞれの立場で正しく理解し、「地域とともにある大衆娯楽」としてホール業者が一丸となって積極的かつ継続的に社会貢献活動を強力に推進することとしています。

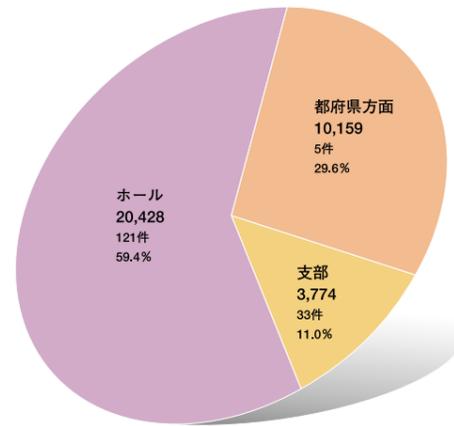
■ 年別 拠出額と拠出件数



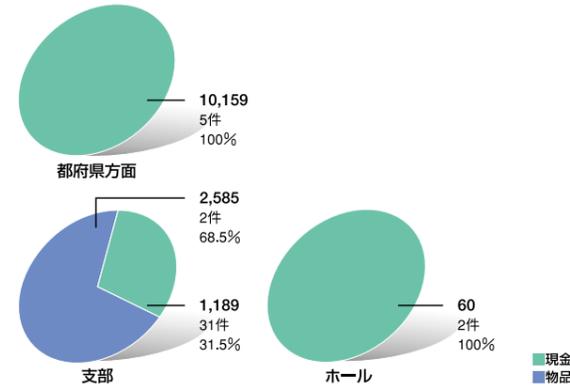
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



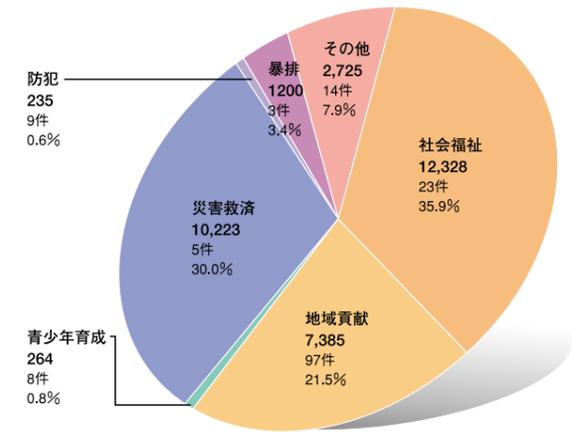
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●特養ホームに送迎車両を寄贈

新潟県組合では、県内の特養ホーム6施設に車椅子送迎車両の寄贈と購入補助金を贈呈した。このうち、三条市の施設は一昨年7.13水害で車両が水没し、補充されなかったことから大変喜ばれた。



贈呈の様様 贈呈された車両

### ●老人ホームでパチンコ大会を実施

傘下の新潟市組合青年部では、市内の「軽費老人ホーム有明ハイツ」にパチンコ台などを持参して慰問パチンコ大会を実施した。参加者には漏れなく参加賞を贈呈し、施設には衣類乾燥機も寄贈した。



老人ホームに持参したパチンコ台 パチンコを楽しむ参加者

### ●スペシャルオリンピックス日本へ100万円寄贈

新潟県遊技業協同組合の堀川三雄理事長は、新潟市内で行われたチャリティライブ会場においてスペシャルオリンピックス日本に対し、知的障害者のスポーツ活動および事業運営資金として100万円寄贈した。

### ●身障者施設に送迎車両を寄贈

新潟市内の身障者施設に送迎車両3台を贈呈した。この車両は入所者の足として大きく役立っている。



贈呈の様様 贈呈された車両

- 4社会福祉法人に福祉車両を寄贈
- 心身障害者小規模施設3施設に送迎用軽乗用車を寄贈
- 小学校施設へ文具セットを寄贈
- デイサービスセンターへ娯楽用パチンコ台を寄贈
- 小学校へ交通安全標語プレートを寄贈
- 盲導犬育成費用を寄付
- 7.13水害復興資金を寄付
- 中越地震の義援チャリティとしてプロレスやマジックショーを開催

## 都道府県データ

# 長野県

- 社会貢献活動拠出額……………61,019,643円
- 社会貢献活動拠出件数……………230件

- 総人口……………2,196,012人
  - 男性……………1,068,046人
  - 女性……………1,127,966人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>当たり)……………162人
  - 世帯数……………779,575世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

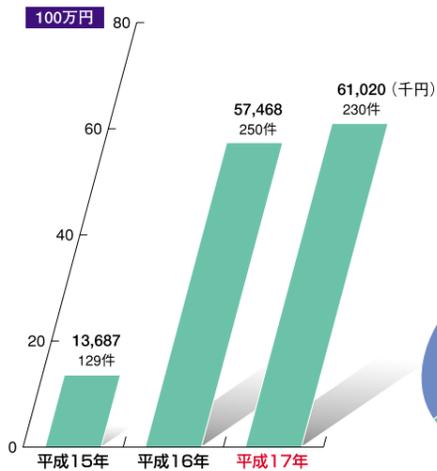


長野県遊技業協同組合理事長  
青松英和氏

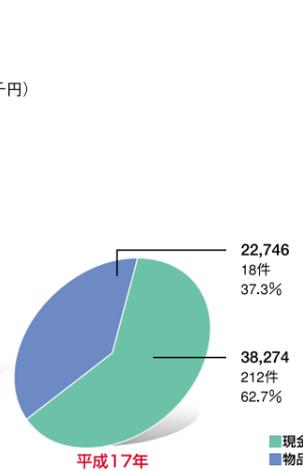
### 組合創立40周年記念事業を実施。

今年創立40周年を迎えた当組合は、業界内外に向け40周年記念事業を企画いたしました。地元県民の皆様へ我々組合の社会貢献活動、地域防犯活動をよく認知していただき、今後も私たちの組合が社会の一員として適正に評価されるように努めていきたいと考えています。

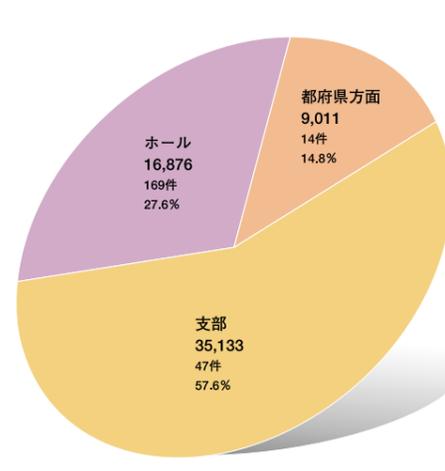
■ 年別 拠出額と拠出件数



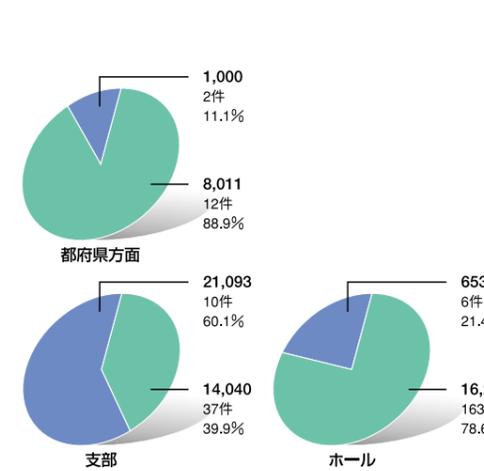
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



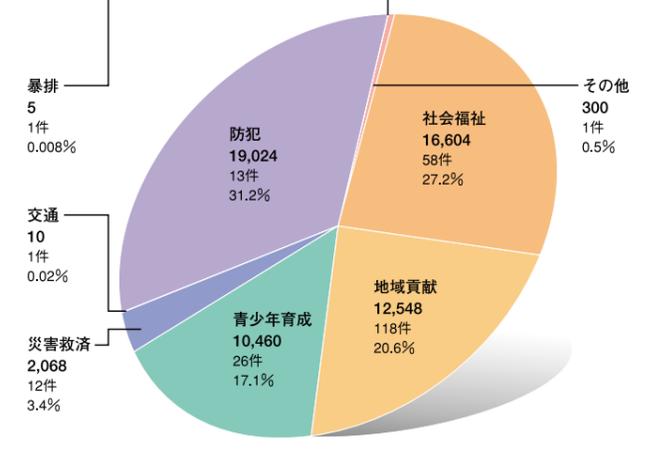
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●安全・安心な街づくりのためにNPO法人を発足

長野遊技場組合は、安全・安心な街づくりを図り、広く公益に寄与することを目的として、青色回転灯パトロール隊によるパトロール活動を行う特定非営利活動法人(NPO)「しなの」を発足した。



店内パトロールのスタッフ NPO法人「しなの」発足式

### ●不審者侵入の際に使用する刺股を教育委員会に寄贈

上小遊技場組合はチャリティーコンペによって集められた浄財をもとに、不審者が侵入した際に使用する刺股46本を上田市教育委員会へ寄贈した。刺股は市内23の小中学校に2本ずつ配られる予定である。



任命書交付 通称「青パト」とスタッフ

### ●社会福祉端玉キャンペーンの実施

(株)ヤクルト本社 中部神奈川支店(長野県南信ヤクルト・北信ヤクルト)のご協力により、「長野県遊協・ヤクルト社会福祉キャンペーン」を実施し、同社のキャンペーン協賛金を社会福祉金として活用。



長野赤十字病院に車椅子を贈呈

### ●新潟県中越地震の復興支援活動として義援金を寄付

### ●上小遊技場組合では車上狙い防止のための車内用吸盤付きパネルを制作

### ●諏訪・茅野遊技場組合では防犯意識の高揚をはかるため、防犯ウチワを市民に配布

### ●上伊那遊技場組合では、子どもを事件・事故から守るため「子どもを守る安心の家」の看板制作、1,100個を作成寄贈

### ●飯田下伊那遊技場組合では、飯田少年友の会へ防犯活動用の「ジャンパー・帽子」を寄贈



要所に貼られたポスター

平成17年度社会福祉寄付金の贈呈を県庁で青松理事長、久保田・神田副理事長、宮澤専務理事等出席のもと、田中康夫長野県知事に贈呈し、知事から感謝状を授与された。

1. 長野県に“高齢者及び身体障害者等の福祉と、青少年の健全育成”のために200万円
  2. 長野県立病院に“身体障害者等社会福祉活動への協力”のために車椅子10台
- また各団体に県遊技業協同組合理事長から下記の各団体の代表者に寄贈した。

1. NHK歳末たすけあいに300万円、NHK海外たすけあいに50万円、上記2件は、平成17年(2005年)12月16日午前中、NHK長野放送局に贈呈。
2. 財団法人長野県科学振興会に50万円
3. 財団法人アジア刑政財団長野支部(会長宇都宮元氏)に30万円
4. 更正保護法人長野県保護観察協会に50万円
5. 特定非営利活動法人長野犯罪被害者支援センターに50万円
6. 長野赤十字病院(院長宮崎忠昭氏)に車椅子11台
7. 日本ボーイスカウト長野県連盟(連盟長田中康夫氏)に30万円
8. 社団法人ガールスカウト日本連盟長野県支部(支部長宮崎昭子氏)に30万円



各団体の代表者に贈呈



NHK歳末たすけあいに寄付

- 2005年長野・松本遊技場組合では、スペシャルオリンピックス世界大会冬季世界大会長野へ寄付
- ココネットグループでは東信地区少年サッカーリーグの「少年サッカー大会」開催の支援に寄付金を贈呈
- 大栄グループでは、デイサービスセンター「桑の美」へ、中古遊技機4台を贈呈
- ギガ・ジャパンでは、従業員のユニホームデザイン変更に伴い、(財)オイスカ長野県支部を通じて、ミャンマーへ変更前のユニホーム(未使用)300着を寄贈

※秀れた貢献活動が認められ、「特定非営利法人しなのの活動」が犯罪防止協力賞を受賞しました(52ページ参照)。

## 都道府県データ

# 静岡県

- 社会貢献活動拠出額……………40,380,519円
- 社会貢献活動拠出件数……………234件

- 総人口……………3,792,457人  
男性……………1,868,444人  
女性……………1,924,013人
  - 人口密度(1Km<sup>2</sup>あたり)……………487人
  - 世帯数……………1,352,283世帯
- ※総務省国勢調査資料より(17年10月)

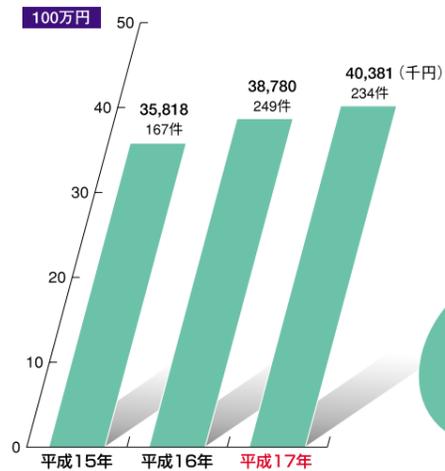


静岡県遊技業協同組合  
理事長  
佐原英雄氏

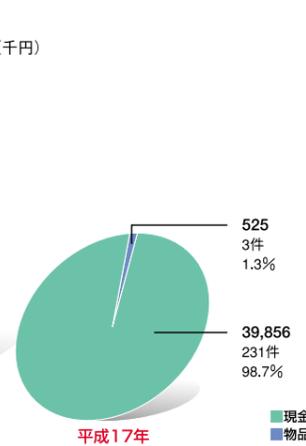
### 「社会貢献活動は、県遊協主導で」を原則に活動！

従前、業界の社会貢献活動は、県あるいはその外郭団体、NPO法人等に多額の寄付をして、その運用は各々にまかせてこれをもって社会貢献活動とする考えが強かったのですが、県遊協ではこれを見直し、寄付の運用方法を具体的に検討し、県遊協の活動が県民の目に直接触れる活動を目指して活動しています。

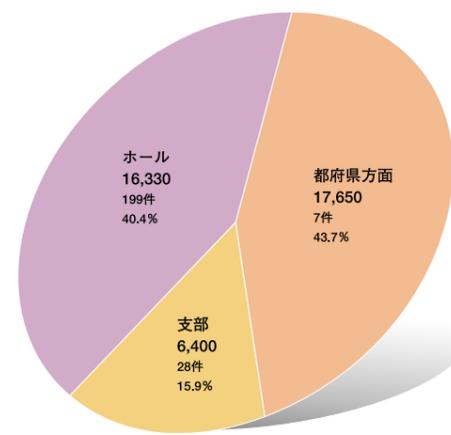
■ 年別 拠出額と拠出件数



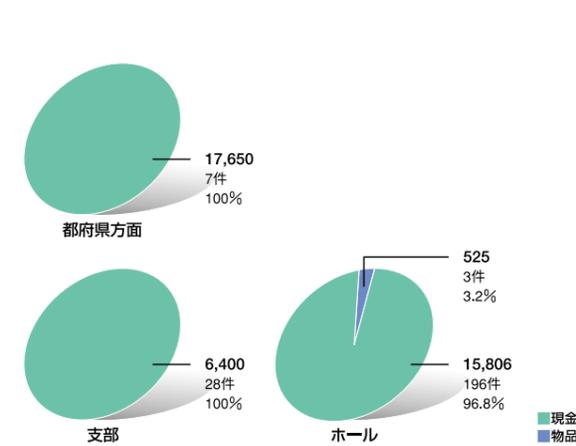
■ 平成17年 現金・物品の割合 (単位:千円)



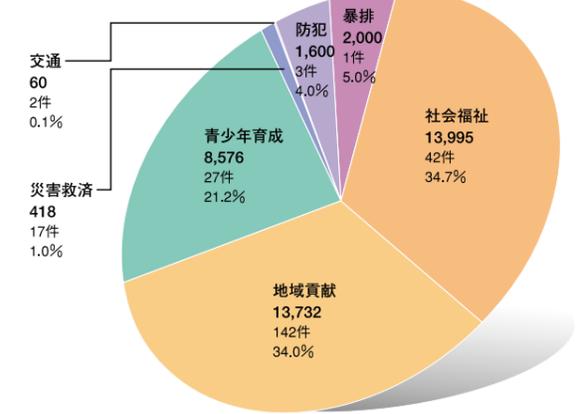
■ 平成17年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



■ 平成17年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成17年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



### ●新潟県中越地震の被災者の方々へ暖房器具を寄贈

静岡県ボランティア協会と協力し、“ホットな贈り物作戦”として仮設住宅で生活されている新潟県中越地震の被災者の方々へホットカーペット、こたつなど200台の暖房器具を寄贈した。

### ●授産事業所の支援のため授産製品を景品として購入

県授産事業振興センターに協力し、平成13年(2001年)から、年2回、県内の授産所で製造した商品を、平均1,000万円買い上げ(本年度で10回目)遊技客の協力を得て、景品として提供した。

### ●児童の集団生活への適応力を高めるため県地域教育力再生プラン運営協議会に寄付

平成17年(2005年)から、県教育委員会が主催する「通学合宿推進事業」(地域の児童が宿泊施設等で、異学年の児童と共同生活を営みながら通学し、集団生活での知恵や適応力を身に付けさせる事業)を全面的に支援した。

### ●青少年の健全育成を目的として静岡県教育委員会に寄付

- 暴力追放・銃器根絶県民大会への参加
- 青少年健全育成県民大会への参加

### ●青少年の健全育成を目的として静岡県教育委員会に寄付

県教育委員会が主催、中学生が日常生活の中で考えていることを広く県民に訴え、社会の一員としての自覚を高めることを目的とした、県教育委員会が主催する「中学生わたしの主張」(本年度で5回目)を支援。

### ●通学児童の安全を守るボランティアが使用する車両に装着する着脱式回転灯30基を寄贈

通学中の児童が凶悪事件に巻き込まれる事件が多発していることから、通学児童の安全を守るNPO法人「犯罪予防センター」が使用する車両に着脱式青色回転灯30基を寄贈した。